

報告第6号

一般社団法人豊岡観光イノベーション第7期の決算及び第8期の事業
計画に関する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和5年6月15日提出

豊岡市長 関貫久仁郎

決算等の状況の報告

一般社団法人豊岡観光イノベーション

事業の概要と成果

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「新しい生活様式」への転換や国際的な往来の制限により、観光客数の減少など大きな影響を受け、特に、コロナ禍以前においては毎年増加していた外国人旅行者は、ほぼ皆無となり、観光事業者に極めて大きな打撃を与えてきました。ようやく、2022年10月11日、外国人旅行者の入国者数の上限が撤廃され、個人旅行者の入国も解禁されました。日本政府観光局は3月の訪日外国人旅行者数が約181万人に達し、新型コロナウイルス感染拡大前の2019年同月比の65.8%まで回復したことを発表しました。

当法人においては、外国人旅行者の入国制限の期間においても、SNS等を活用した地道な情報発信を続け、入国制限の緩和が始まる前の2022年6月からWEB上にて訪日外国人ウェルカムキャンペーンをスタートさせました。9月からは、本市への来訪の歓迎を伝える「ウェルカム動画」を発信するとともに、WEBサイト「Visit Kinosaki」経由の予約者にエコアメニティやトートバッグをプレゼントする企画「ウェルカムキャンペーン」を本格的に始めました。また、個人旅行が解禁となった10月からは、宿泊施設にて「ウェルカムカード」を配布する取り組みも行ってきました。

この結果、2022年度のWEBサイト「Visit Kinosaki」の流入数(UU)は、過去最高を記録し、同サイトにおける宿泊予約件数、予約金額も過去最高となりました。外国人旅行者の入国制限の期間における継続的な情報発信、訪日旅行解禁前から準備し、解禁のタイミングを見計らって実施した「ウェルカムキャンペーン」が功を奏し、狙っていたインバウンドのスタートダッシュに成功することができました。

2022年度は、前年度に引き続き、観光DXに力を入れ、宿泊施設で利用いただく共通PMS(ホテル管理システム)の展開、地域WEBアプリ「豊岡市スマホ観光ナビ」の開発に取り組みました。今後は、2021年度に開発した地域の宿泊予約データを自動収集して図表化するシステム「観光DX基盤」と合わせて有効活用し、観光地CRMに取り組んでまいります。

その他にも、国内観光総合サイトの構築、国内外の旅行会社に対する旅行商品造成に向けた営業活動、海外メディアへの記事露出の働きかけ、ローカルガイド養成講座、体験プログラムの企画造成、広域連携など、観光地マーケティングに精力的に取り組んできました。

損益状況は、営業利益5,218千円、営業外収益12,934千円となり、当期経常利益は18,152千円、税引き後の当期純利益は、14,615千円となりました。関係者の皆様方のご支援、ご協力をいただき役員・職員日々業務に取り組みましたことをご報告いたします。

一般社団法人豊岡観光イノベーション 組織概要

1. 設立日

2016年6月1日

2. 社員

豊岡市

WILLER株式会社

全但バス株式会社

株式会社但馬銀行

但馬信用金庫

3. 役員

理事長 関貫 久仁郎

副理事長 村上 宣人

副理事長 西上 均

事業本部長 島津 太一

理事 村瀬 茂高

倉橋 建

川上 晃弘

高宮 浩之

武田 和徳

大社 充

米田 紀子

監事 作花 良祐

4. 事業本部職員

事業本部長（理事、派遣職員） 1名

派遣職員 6名

嘱託・臨時職員 5名

5. 基金拠出額

28,700千円

決算報告書

第 7 期

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月 31日

一般社団法人豊岡観光イノベーション

(一社)豊岡観光イノベーション
 貸借対照表
 2023年 3月31日 現在

単位:円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	90,591,971	I 流動負債	30,471,469
1 現金	28,798	1 未払金	14,537,009
2 預金	70,894,357	2 未払法人税等	3,536,700
3 売掛金	0	3 預り金	22,462
4 前払金	0	4 仮受金	10,981,198
5 立替金	0	5 未払消費税等	1,394,100
6 未収入金	19,668,816	II 固定負債	0
II 固定資産	3,650,603	負債合計	30,471,469
1 有形固定資産	650,603	純資産の部	
・一括償却資産	650,603	I 純資産	63,771,105
2 無形固定資産	0	1 基金	28,700,000
・ソフトウェア	0	2 利益剰余金	35,071,105
3 投資その他の資産	3,000,000	・繰越利益剰余金	35,071,105
・差入保証金	3,000,000	純資産合計	63,771,105
資産合計	94,242,574	負債・純資産合計	94,242,574

(一社)豊岡観光イノベーション
損益計算書

自 2022年 4月 1日
至 2023年 3月31日

単位:円

科目	金額	備考
I 純 売 上		
1) Visit Kinosaki 手数料	1,323,899	
2) ツアー等売上高		
・着地型ツアー、体験プログラム	7,976,952	
・旅行会社ツアー	556,530	
・ふるさと納税返礼品プログラム	215,510	
3) 視察売上高	404,347	
4) マーケティング売上高	153,219	
5) 会費収入	1,530,000	小計 12,160,457
6) 委託料収入		
・ Visit Kinosaki 運用	3,894,000	
・ 海外プロモーション事業	2,017,790	
・ 機動的プロモーション事業	14,673,000	
・ 国内WEBマーケティング事業	3,663,000	
・ 国内向けホームページ改修業務	1,700,000	
・ 国内誘客キャンペーン業務	1,199,000	
・ 高付加価値ツアーリズム推進業務	906,000	
・ 市内周遊促進事業	19,164,200	
・ 観光施策評価指標データ収集	1,802,000	
・ 豊岡観光DXシステム構築業務	30,000,000	
・ アンケート委託事業	180,000	
・ ネオカルTOYOOKA WEB制作業務	534,600	
・ フラッグトヨタカ管理運営	402,450	
・ 豊岡観光DX地域アプリ開発運用業務	20,000,000	
・ その他業務委託料	813,342	小計 113,109,839
II 売 上 原 価		
1) ツアー等関連経費		
・着地型ツアー、体験プログラム	5,807,373	
・旅行会社ツアー	473,442	
2) 視察関連経費	22,800	6,303,615
III 販売費および一般管理費		
1) 給料手当	9,640,451	
2) 賞与	1,730,356	
3) 法定福利費	1,603,258	
4) 福厚宣	50,578	
5) 旅費	28,322,176	
6) 旅費	662,856	
7) 交際費	33,786	
8) 会車費	126,387	
9) 通水	167,741	
10) 水道税	465,055	
11) 租税	360,000	
12) 消耗品	139,021	
13) 消耗品	1,211,057	
14) 共益	262,014	
15) 賃借	1,392,000	
16) リリース	796,224	
17) 修繕	0	
18) 保険	103,438	
19) 支払手数料	4,839,183	
20) 諸債	0	
21) 減価償却	1,704,184	
22) 委託費	45,270,549	
23) 研修	385,000	
24) 消費税	2,323,300	101,588,614
営業利益		5,217,610
IV 営業外収益		
1) 受取利息	524	
2) 市補助金収入	12,276,896	
3) 国県補助金収入	554,550	
4) 雑収入	102,225	12,934,195
V 営業外費用		
1) 支払利息	0	
2) 雑損	87	87
経常利益		18,151,718
税引前当期純利益		18,151,718
法人税、住民税及び市県民税		3,536,780
当期純利益		14,614,938

個 別 注 記 表

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 固定資産の減価償却の方法
 - 有形固定資産・・・定率法
 - 無形固定資産・・・定額法
 - (2) 消費税等の会計処理
 - 消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

一般社団法人豊岡観光イノベーション

別紙の通り報告致します。

令和 5年 5月 25日

一般社団法人豊岡観光イノベーション

代 表 理 事	関 貫 久 仁 郎
理 事	桐 山 徹 郎
理 事	西 上 均
理 事	村 瀬 茂 高
理 事	倉 橋 建
理 事	川 上 晃 弘
理 事	武 田 和 徳
理 事	大 社 充
理 事	高 宮 浩 之
理 事	坂 本 成 彦

別紙監査の結果、適法正確である事を認めます。

令和 5年 5月 16日

監 事 作 花 良 祐

事業の概要

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、これまで経験したことのないような危機が観光業界全体を襲ってきましたが、2022年10月には訪日個人旅行解禁や全国旅行支援などが行われ、観光業界の低迷にも、ようやく明るい兆しが見えてきました。当地域に観光客を取り戻すべくしっかりと取り組みます。

当法人の設立から昨年度まで、豊岡市と協働で観光事業を実行してまいりましたが、8期目となる2023年度からは、国内からの誘客、海外からの誘客ともに、当法人が中心となり、実務を担っていくこととします。これに伴い、前年度までメインであった市からの委託事業を大きく縮小し、市から負担金として事業費を預かり、当法人が自主的に事業を企画実行していきます。これまで以上に、事業内容を説明しながら、責任を持って実行していくため、2023年度は、年に3回、市内の観光事業者、市民を対象とした事業説明会を開催します。

当法人の活動にかかる基本方針をあらためて設定しました。基本方針は、「観光地経営の確立を目指す」とし、① 多様な関係者の合意形成、② さまざまな関連データの収集・分析・活用、③ 明確なコンセプトに基づいた戦略策定、④ 策定した戦略に基づいた誘客プロモーション、⑤ KPIの設定とPDCAサイクルの確立、⑥ 観光協会、交通事業者等と連携した周遊促進、⑦ 地域の事業者と連携した商品開発、に取り組めます。

そのうえで、2023年度の経営方針を3つ決めました。1つ目は、「インバウンド誘客を強力に推進し、急速に回復する訪日旅行者を取込む」です。WEBサイト「Visit Kinosaki」を活用したWEBマーケティングを強化するとともに、高付加価値旅行者層へのアプローチに取り組めます。また、周遊を促進するため、出石や神鍋地域の認知度向上を図ります。2つ目は、「国内観光客の周遊とリピートを促進するとともに、新規顧客の開拓に着手する」です。豊岡市観光公式サイトへの流入とサイト内回遊を強化するとともに、2022年度に開発したスマホ観光ナビの利用を促進します。同時に観光協会との密な連携を図り、周遊促進策に取り組めます。また、ふるさと納税返礼品として「旅行クーポン」を開発し、リピーターのみならず新規顧客の獲得に着手します。3つ目は、「観光DXを推進し、地域事業者の稼ぐ力を引き上げる」です。観光DX基盤を活用したレベニューマネジメントを促進するとともに、物販飲食事業者への取り組みに着手し、成功事例を作ることを目指します。

地域の稼ぐ力を引き出す組織として、益々チャレンジしていきたいと考えておりますので、今後ともご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(一社)豊岡観光イノベーション

予定損益計算書

自 2023年 4月 1日
至 2024年 3月31日

単位:円

科目	金額	備考
I 純 売 上 高		
1) Visit Kinosaki手数料	3,180,000	
2) ツアー等売上高		
・着地型ツアー、体験プログラム	8,000,000	
・旅行会社ツアー	3,000,000	
・ふるさと納税返礼品プログラム	4,100,000	
3) 視察売上高	500,000	
4) マーケティング売上高	200,000	
5) 会費収入	1,600,000	小計 20,580,000
6) 負担金収入		
・海外誘客推進負担金	21,244,000	
・国内誘客推進負担金	6,838,000	
・機能強化負担金	27,115,000	
7) 委託料収入		
・観光地消費拡大推進	6,958,000	
・フラットヨオカ管理運営	460,000	小計 7,418,000
II 売上原価		
1) ツアー関連経費		
・着地型ツアー、体験プログラム	6,800,000	
・旅行会社ツアー	2,550,000	
2) 視察関連経費	30,000	9,380,000
III 売上総利益		73,815,000
III 販売費および一般管理費		
1) 給与手当	14,440,568	
2) 賞与	5,511,233	
3) 法定福利費	5,328,355	
4) 福厚利生費	500,000	
5) 広報伝通費	16,261,960	
6) 旅交費	500,000	
7) 交際費	300,000	
8) 会議費	120,000	
9) 車両費	180,000	
10) 通信費	500,000	
11) 水道光熱費	360,000	
12) 租税公課	100,000	
13) 消耗品費	600,000	
14) 共益費	240,000	
15) 賃借料	1,392,000	
16) リリース料	796,224	
17) 修繕費	250,000	
18) 保険料	105,000	
19) 支払手数料	3,500,000	
20) 諸会費	0	
21) 減価償却費	1,000,000	
22) 委託修繕費	9,270,000	
23) 研修費	2,000,000	
24) 消費税等	4,000,000	67,255,340
営業利益		6,559,660
IV 営業外収益		
1) 受取利息	1,000	
2) 市補助金収入	0	
3) 国県等補助金収入	0	
4) 雑収入	50,000	51,000
経常利益		6,610,660
税引前当期純利益		6,610,660
法人税、住民税及び事業税		3,000,000
当期純利益		3,610,660

報告第7号

豊岡まちづくり株式会社第28期の決算及び第29期の事業計画に関する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和5年6月15日提出

豊岡市長 関貫久仁郎

豊岡まちづくり株式会社経営状況説明書

令和5年6月6日

豊岡まちづくり株式会社

事業報告

第28期

自 令和 4年4月 1日
至 令和 5年3月31日

兵庫県豊岡市大磯町1番79号

豊岡まちづくり株式会社

第1号議案

第28期（令和4年度）事業報告

事業概況

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による落ち込みから回復する動きが続いたものの、ウクライナ情勢の長期化等によるインフレ進行やサプライチェーンの混乱、各国中央銀行の金融引き締めに伴う景気後退懸念に加え、記録的な円安や建設資材の価格高騰、さらには新型コロナウイルス感染症の再拡大も危惧されるなど、先行きが見通せない状況でした。このような情勢の中ではありますが積極的に販売活動を展開し、店舗改装工事で一時的な売上の落ち込みもありましたが、改装後は順調に売り上げを伸ばしており、またアトリエネット部門においては、過去最高の売上を計上するなど、着実に売り上げを伸ばしております。

事業全体で売上高は対前年28,667千円増の176,307千円となりました。売上原価は、対前年19,103千円増の81,732千円でした。販売費及び一般管理費につきましてはアトリエショップ部門やアトリエネット部門の売上増による支払手数料の増や、店舗改装工事の資産増による減価償却費の増もあり、全体で対前年7,148千円増の87,837千円となりました。よって、営業利益は、部門合計で対前年2,416千円増の6,738千円となりました。

これを主な部門についてみますと、次のとおりです。

（アトリエショップ部門）

コロナ禍から回復の動きはあったものの、計画には届かない状況でしたが、兵庫県と豊岡市の消費拡大支援事業を活用した、宵田商店街振興組合店舗で使用できる「カバストプレミアム商品券」の効果と、改装工事後の各種イベントの効果により何とか盛り返し、売上高は63,985千円と前年同比6,430千円の増加となり、営業利益は減価償却費の増もあり、929千円と前年同比341千円の減少となりました。

（アトリエネット部門）

ネット販売業務は、定番特集コンテンツと季節特集からコンスタントに受注が取れており、サイトの年間訪問者数も対前年130%を超えました。また、会員サービスとしてメールマガジンやクーポンを活用し、顧客の定着とリピート率の向上を目指す様々なキャンペーンを実施し、更には10月から4か月間兵庫県靴工業組合の事業「豊岡靴シナジープロジェクト」からも助成を受けるなどの広告費を増額した結果、期末には前年度の過去最高の売上高を更に上回る実績となりました。売上高は79,885千円と前年同比23,466千円の増加となり、営業利益は、3,517千円で前年同比1,598千円の増加となりました。ただ、宣伝広告費を増額したため、利益率が大きく下がったことが懸念材料となります。

(スクールⅠ部門)

北海道から熊本まで全国から13名の生徒が入校しました。途中地元東京での就職がきまり、1名中退しましたが、感染予防対策をしながらの通常運営と、年度末には希望者を集い財布特別講座の開催をしました。売上高は18,402千円で前年同比379千円の減少となり、営業利益は1,075千円で前年同比93千円の減少となりました。9年目を終え90数名の若者が豊岡を中心に巣立って行きました。アルチザンスクールでの熱い思いを持って今後も活躍されることを期待しています。

(スクールⅡ部門)

令和2年度より開校した財布専科講座ですが、現在休校中です。

(給食配送事業部門)

豊岡市の委託業務で、令和3年度より令和5年度の3年間契約の2年度目として、1年間学校給食を市内の小学校5校、中学校3校へ遅滞なく安全に届けることが出来ました。

売上高は14,035千円で前年同比850千円の減少となり、営業利益は1,215千円で前年同比1,583千円の減少となりました。

当社も会社設立から28年が経ち、また、アルチザン事業を立ち上げて9年が経過しました。ここまで来られたのも、偏に株主の皆様や関係各位のご理解とご協力のお蔭と感謝申し上げます。今後も更なる業績向上を目指し、役職員一丸となって邁進して参りますので、よろしく願い申し上げます。

事業（営業）報告資料

1. 事業（営業）実績

◇売上高の推移

（単位：千円）

区 分		第25期 (平成31年度)	第26期 (令和2年度)	第27期 (令和3年度)	第28期 (令和4年度)
アルチザン事業		138,865	124,368	132,755	162,272
内訳	アトリエ	111,659	107,336	113,974	143,870
	スクール	27,206	17,032	18,781	18,402
学校給食配送事		13,268	14,322	14,885	14,035
合 計		152,133	138,690	147,640	176,307

◇営業成績の推移

（単位：千円）

区 分	第25期 (平成31年度)	第26期 (令和2年度)	第27期 (令和3年度)	第28期 (令和4年度)
営業利益	12,199	4,591	4,322	6,738
経常利益	13,346	9,933	6,216	7,253
当期純利益	9,974	7,644	4,870	5,381
総資産	132,078	137,862	143,082	148,787
純資産	107,422	115,067	119,938	123,483

2. 会社の概要（現況）

(1) 資本金

資 本 金	91,800千円
-------	----------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,836株
内 豊岡市保有分	918株
内 豊岡商工会議所保有分	414株

(3) 役員状況

	役職名	役員名
1	代表取締役	足立 哲宏
2	代表取締役	由利 昇三郎
3	取締役	表川 英生
4	取締役	植村 賢仁
5	取締役	西田 正樹
6	取締役	谷口 啓志
7	取締役	菅下 菜司
8	取締役	坂本 成彦
9	取締役	卵野 隆也
10	取締役	表川 克典
11	監査役	浮田 昌彦
12	監査役	塚本 繁樹

(4) 社員（従業員）の状況

区分	人数	構成
社員	7	男 4名、女 3名
パート	14	男 12名、女 2名
合計	21	

貸借対照表

令和 5年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 114,198,041】	【流 動 負 債】	【 25,304,108】
現 金 ・ 預 金	95,315,167	買 掛 金	12,079,992
売 掛 金	10,780,809	未 払 費 用	51,108
商 品 ・ 製 品	4,364,146	未 払 金	1,731,802
材 料	393,938	未 払 法 人 税 等	1,200,000
貯 蔵 品	1,033,831	前 受 金	10,060,000
仮 払 金	450,000	預 り 金	181,206
前 払 費 用	217,800		
前 払 金	106,850		
未 収 消 費 税 等	1,642,500		
貸 倒 引 当 金	△107,000	負 債 合 計	25,304,108
【固 定 資 産】	【 34,589,700】	純 資 産 の 部	
[有 形 固 定 資 産]	[34,259,764]	【株 主 資 本】	【 123,483,633】
建 物	8,101,427	[資 本 金]	[91,800,000]
建 物 附 属 設 備	5,321,865	[利 益 剰 余 金]	[31,683,633]
構 築 物	1	(其 他 利 益 剰 余 金)	(31,683,633)
工 具 器 具 備 品	20,535,670	繰 越 利 益 剰 余 金	31,683,633
土 地	300,801	(う ち 当 期 純 利 益)	(5,381,267)
[無 形 固 定 資 産]	[299,936]		
電 話 加 入 権	299,936		
[投 資 其 他 の 資 産]	[30,000]		
出 資 金	30,000	純 資 産 合 計	123,483,633
資 産 合 計	148,787,741	負 債 ・ 純 資 産 合 計	148,787,741

損 益 計 算 書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
【純 売 上 高】		
アルチザン事業収入	162,272,675	
学校給食配送事業収入	14,035,000	176,307,675
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	3,063,161	
仕 入 高	83,427,144	
合 計	86,490,305	
期 末 棚 卸 高	4,758,084	81,732,221
売 上 総 利 益		94,575,454
【販売費及び一般管理費】		87,837,309
営 業 利 益		6,738,145
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	1,760	
受 取 配 当 金	400	
雑 収 入	2,240,480	2,242,640
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	1,727,269	1,727,269
経 常 利 益		7,253,516
【特 別 損 失】		
固 定 資 産 除 却 損	5	5
税 引 前 当 期 純 利 益		7,253,511
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		1,872,244
当 期 純 利 益		5,381,267

販売費及び一般管理費

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
給 料 手 当	34,626,097	
業 務 委 託 費	4,388,917	
法 定 福 利 費	4,259,980	
福 利 厚 生 費	1,568,908	
広 告 宣 伝 費	9,218,344	
運 賃	2,394,947	
旅 費 交 通 費	262,816	
教 材 費	1,632,377	
商 品 開 発 費	43,900	
車 輛 管 理 費	1,834,699	
通 信 費	326,498	
水 道 光 熱 費	1,328,939	
租 税 公 課	521,750	
消 耗 品 費	2,468,334	
事 務 費	980,028	
賃 借 料	558,330	
車 輛 賃 借 料	1,497,518	
減 価 償 却 費	3,702,861	
修 繕 費	75,000	
保 險 料	876,420	
支 払 手 数 料	13,648,965	
負 担 金 料	173,680	
リ ー ス 料	626,400	
交 際 費	223,085	
会 議 費	24,313	
寄 附 金	2,000	
雑 費	563,203	
貸 倒 引 当 金 繰 入	9,000	87,837,309
合 計		87,837,309

部 門 別 損 益

自令和 4年 4月 1日 至令和 5年 3月31日

(単位：円)

	総 合 計	アルチザン・ アトリエ ショップ部門	アルチザン・ アトリエ ネットショップ部門	アルチザン・ スクール①部門	学校給食配送 事業部門
I 売 上 高	176,307,675	63,985,070	79,885,546	18,402,059	14,035,000
II 売 上 原 価	81,732,221	37,203,585	44,528,636	0	0
III 売 上 総 利 益	94,575,454	26,781,485	35,356,910	18,402,059	14,035,000
IV 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	87,837,309	25,851,553	31,839,798	17,326,766	12,819,192
V 営 業 利 益	6,738,145	929,932	3,517,112	1,075,293	1,215,808

株主資本等変動計算書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日 (単位：円)

	株主資本			株主資本合計	純資産合計
	資本金	利益剰余金			
		繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	91,800,000	28,138,366	28,138,366	119,938,366	119,938,366
当期変動額					
剰余金の配当		△ 1,836,000	△ 1,836,000	△ 1,836,000	△ 1,836,000
当期純利益		5,381,267	5,381,267	5,381,267	5,381,267
当期変動額合計	0	3,545,267	3,545,267	3,545,267	3,545,267
当期末残高	91,800,000	31,683,633	31,683,633	123,483,633	123,483,633

個 別 注 記 表

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。

2. 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産・・・最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定額法

無形固定資産・・・定額法

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上しています。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 16,543,676円

(2) 国庫補助金等で取得した固定資産について、取得価額から次の圧縮記帳額を控除しております。(第18期、第19期及び第20期)

土地	26,066,398円
建物	71,248,946円
建物附属設備	25,744,945円
その他固定資産	18,245,567円
計	141,305,856円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式 当期末発行済株式数 1,836株

(2) 配当に関する事項

① 配当金支払額

株式の種類		普通株式
決議	令和4年5月30日開催	定時株主総会
配当金の総額		1,836,000円
1株当たり配当額		1,000円
基準日		令和 4年 3月31日
効力発生日		令和 4年 5月31日

②基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの
令和5年6月6日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を
次のとおり提案しております。

株式の種類	普通株式
決議	令和5年6月6日開催 定時株主総会
配当金の総額	1,836,000円
1株当たり配当額	1,000円
基準日	令和5年3月31日
効力発生日	令和5年6月7日

豊岡まちづくり株式会社

別紙の通り報告致します。

令和 5年 6月 6日

豊岡まちづくり株式会社

代表取締役社長	足立哲宏
代表取締役副社長	由利昇三郎
取締役	衣川英生
取締役	植村賢仁
取締役	西田正樹
取締役	谷口啓志
取締役	宮下栄司
取締役	坂本成彦
取締役	卯野隆也
取締役	衣川克典

別紙監査の結果、適法正確である事を認めます。

令和 5年 5月19日

監査役	浮田昌彦
監査役	塚本繁樹

監査報告書

豊岡まちづくり株式会社 様

監査の結果

私監査役は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの第28期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書に関して、本監査報告書を作成し、以下の通り報告致します。

尚、当会社の監査役は、定款第4条の定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されている為、事業報告を監査する権限は有していません。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役等から会計に関する職務の状況を聴取し、会計に関する重要書類等を閲覧致しました。また、会計帳簿又はこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書）及びその附属明細書について検討致しました。

2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適法かつ正確に表示しているものと認めます。

令和5年5月19日

監査役

浮田昌彦

塚本繁樹

第2号議案

第29期（令和5年度）事業計画及び収支計画（案）

1 計画概要

令和5年度の当社の事業としましては、アルチザン事業のアトリエショップ部門、アトリエネット部門、及び鞍職人養成のスクールI部門、そして学校給食配送事業の給食配送部門の2事業4部門に取り組みます。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類に変更されるなど、人と物の動きが活発になるはずですので、大きなチャンスがあると考えています。兵庫県鞍工業組合とも更なる協力・連携を深め、2025年に開催される大阪・関西万博の宣伝広告を活用し、豊岡の鞍の魅力を発信することで、店舗・ネットショップ・スクールの知名度アップに繋がっていきます。

2 アルチザン事業

（アトリエショップ部門）

インバウンドの回復・2025年の万博等を見据えた運営を重点に考え、取り組んで参ります。更に回遊型イベント等の実施で周辺商店街と協力し、集客に繋がられるよう運営してまいります。

また、リピーターの方に喜ばれる魅力的な店舗運営を心掛けていきます。

純売上高としましては、対前年18,014千円増の82,000千円を見込んでおります。また、売上原価は対前年10,028千円増の47,232千円、販売費及び一般管理費は、対前年3,610千円増の29,462千円と見込み、営業利益は対前年4,376千円増の5,306千円と想定しております。

（アトリエネット部門）

全国に向けて「豊岡鞍オフィシャルWEBショップ」として引続き情報発信すると同時に、特集・クーポン等を活用し、サイトの訪問者数を更に伸ばして販売数の増加を目指してまいります。

純売上高は、対前年7,114千円増の87,000千円を見込んでおります。また、売上原価は対前年5,583千円増の50,112千円、販売費及び一般管理費は対前年3,619千円減の28,220千円と見込み、よって営業利益は対前年5,150千円増の8,668千円と想定しております。

(スクールI部門)

令和5年度のアルチザンスクールには、宮城県や佐賀県など全国各地から13名が入校しました。1年後には靴産業の戦力になっていくものと期待しております。

収益につきまして、授業料等収入は対前年462千円減の17,940千円となり、販売費及び一般管理費は対前年357千円増の17,684千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年819千円減の256千円と想定しております。

授業料収入増のために、年度末に在校生を対象とした財布オプション講座を実施したいと考えています。

3 学校給食配送事業

(給食配送部門)

豊岡市の委託事業であり、令和3年2月に一般競争入札により3年間の業務を受託しました。最終年度となり、引続き安全管理を怠ることなく運営してまいります。

純売上高は委託料で、対前年850千円増の14,885千円となります。販売費及び一般管理費は、対前年417千円減の12,402千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年1,267千円増の2,483千円を想定しております。

4 総合収支計画

総合では、純売上高は全体で売上増を見込み、対前年25,518千円増の201,825千円と想定しております。売上原価は対前年15,612千円増の97,344千円と見込み、販売費及び一般管理費は対前年69千円減の87,768千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年9,975千円増の16,713千円と想定しております。

第29期 令和5年度収支事業計画

豊岡まちづくり株式会社

税抜(千円)

科 目	第28期	第29期							備 考
	総 合	対前期 増減	総合(合計)	アトリエ部門 ショップ	アトリエ部門 ネット	スクール部 門Ⅰ	スクール部 門Ⅱ	給食配送 部門	
純売上高	176,307	25,518	201,825	82,000	87,000	17,940	0	14,885	
売上原価	81,732	15,612	97,344	47,232	50,112	0	0	0	
販売管理費	87,837	△ 69	87,768	29,462	28,220	17,684	0	12,402	
営業利益	6,738	9,975	16,713	5,306	8,668	256	0	2,483	
営業外収益	2,242	△ 2,242	0	0	0	0	0	0	
営業外費用	1,727	△ 1,727	0	0	0	0	0	0	
経常利益	7,253	9,460	16,713	5,306	8,668	256	0	2,483	
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	
税引前純利益	7,253	9,460	16,713	5,306	8,668	256	0	2,483	

報告第8号

株式会社日高振興公社第29期の決算及び第30期の事業計画に関する
書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和5年6月15日提出

豊岡市長 関貫久仁郎

決算等の状況の報告

株式会社 日高振興公社

株式会社 日高振興公社 第29期 事業報告

1 事業の経過および成果

当事業年度における国内経済をみると、依然として小売業やサービス業を中心に企業経営に大打撃があり、兵庫県内の倒産件数は、2022年度354件で前年度比13%増となり、3年ぶりに前年度を上回りました。その中でも、新型コロナウイルス関連が91件、4分の1を占めました。コロナ対策で中小企業者等に対し各種支援制度が設けられましたが、原料価格の高騰や円安など外部環境の変化が大きく影響したと思われます。加えて、今後の金融政策や物価高、賃上げによる人件費増など経営を取り巻く環境は、さらに厳しさを増しています。

2022年度の神鍋高原の夏季観光客の入込状況は、教育・文化・スポーツ合宿の再開により入込が増え、約12万2千人（前年度約12万人）、前年度比102%となりました。一方で冬季は、降雪に恵まれず、神鍋高原スキー場は約8万4千人（前年度約14万人）、前年比60%となりました。弊社の12月から3月までの総売上は、5,805万円（前年5,951万円）、前年比98%となりました。その内、経済支援クーポンは1,328万円（前年1,464万円）、前年比91%となりました。

このような状況の下、当社は「地域と共に創る個性ある道の駅」を目指し、取り組んで参りました。

従業員の職務能力向上を図るため、県内外の道の駅や直売所、加工施設の視察研修や意見交換、山陰海岸ジオパーク内の地元企業・高等学校・生産者等との連携強化により、店舗展開（坪単価・客単価アップ）や「個性ある道の駅づくり」のための研修を行いました。

また、毎月開催している社員会議では、各部門ごとに経費実態（部門別管理表・ランニングコスト推計表等）を月次検討し、部門別の課題の抽出を行いました。

さらに、新規イベント計画・新商品開発・設備投資計画等、勉強会を適時実施しました。特に、当事業年度は経費削減、効率的な仕入れの実施、アフターコロナに向けた運営等についても全従業員で取り組みました。

○来客数

道の駅「神鍋高原」	107,962人	（前年度比：102%	2,108人）
神鍋温泉ゆとろぎ	58,651人	（前年度比：96%	△2,423人）

結果、当事業年度における業績は、

売上高	183,593千円	（前年度比：106%	11,097千円）
営業利益	△5,014千円	（前年度比：—%	△2,027千円）
経常利益	△2,266千円	（前年度比：—%	△4,568千円）
当期純利益	△2,476千円	（前年度比：—%	△4,048千円）
		（前年度：1,572千円）	となりました。

(1) 道の駅「神鍋高原」

① 売店部門

当事業年度は物価高騰の影響もあり、仕入れの見直しや価格改定など、年間を通して対応に迫られました。旅行客の出控えがある中でも、ひょうごを旅しようキャンペーンや豊岡市プレミアム付き応援商品券等、経済支援クーポンの利用が 11,902 千円（前年度比 93%）となり、売店部門の売上全体の 10%を占めました。

情報発信として、テレビでは、5 月に関西テレビ「フットマップ」にて神鍋高原キャベツが紹介され、6 月に開催した「神鍋高原キャベツまつり」は、過去最高の賑わいを見せました。また、8 月に MBS テレビ「おはよう朝日です」にて神鍋高原スイカが紹介され、同月開催した「神鍋高原スイカまつり」も多くのお客様で賑わいました。

商品開発として、7 月に神鍋高原キャベツを使用した「神鍋高原キャベツ焼き」、12 月に山陰海岸ジオパーク認証商品として、神鍋産コウノトリ育むお米と竹野町産花房商店のしょうゆを使用した「神鍋ぼんせん」の販売を開始しました。また、神鍋産ピオーネを使用した「神鍋ぶどうシャーベット」や但馬農業高校の生徒が栽培したトマトを使用した「トマトシャーベット」を販売しました。

新たな取り組みとして、但馬北部の固有種である「大美濃柿」を中心に 30 年以上つるし柿を作り続けてきた「神鍋つるし柿生産組合」と連携し、2 月に「第 1 回神鍋つるし柿まつり」を開催し、多くのお客様で賑わいました。また、日高農林産物加工研修所では、約 3 年ぶりにファミリー向けのみそ作りワークショップを開催し、好評を得ました。

さらに、下記の商品を道の駅「神鍋高原」でしか購入できない商品（PB 商品）と位置付け、他店舗との差別化を図りました。

○ほんまもん神鍋	年間販売数：10,700 個	売上金額：6,950 千円
○高等学校商品	年間販売数：7,092 個	売上金額：1,972 千円
○キャベツチップ	年間販売数：2,899 個	売上金額：1,401 千円
○よりどり 3 個セット	年間販売数：2,721 個	売上金額：1,836 千円
○日高みそ関連商品	年間販売数：2,013 個	売上金額：974 千円

※年間販売数量の多い順番に並べています。

② 飲食部門

毎年 7 月・8 月に開催する「全但バス神鍋線利用促進イベント」の「神鍋 BeerNight」を開催し、客数 170 名、売上金額 458 千円、バス乗客 62 名、昨年より 125 名増、売上金額 336 千円増、前年比 375%と少しずつ賑わいを戻してきました。また、12 月に神鍋フェアや 3 月に神鍋マリアージュなど少しずつイベントを増やしました。

情報発信として、紙面では「CO-OP ステーション」に神鍋清流サーモンフライ定食、「まっふる道の駅ドライブ」に但馬牛肉そばなどの料理が掲載されました。テレビでは、関西テレビ「報道ランナー」にて店長が取材を受け、神鍋清流サーモンバーガーが紹介されました。

平日の利用促進として、神鍋火山カレーや神鍋釜めしセットなど、「神鍋産コウノ

トリを育むお米」を使用した新商品の販売、マリオットホテルの11月オープンに併せ、モーニングセットや神鍋温泉ゆとろぎでの弁当・惣菜販売、週末及び繁忙期に夜営業を開催し、効果はコロナの影響等の延長で厳しい状況でした。

土、日、祝日のランチビュッフェは5月から営業自粛を解禁し、客数11,340名（前年比233%）、売上金額12,464千円（前年比243%）となり、昨年より客数6,463名増加、売上金額7,328千円増加となりました。

（2） 神鍋温泉ゆとろぎ

当事業年度は、物価高騰の影響もあり、ガス代が前年度比194%、光熱費も前年度比171%と経営を圧迫しました。経費削減を目指し、木質ペレットの使用やガス燃焼時間の短縮によりガス使用量を前年度比75%削減しましたが、それ以上に価格高騰の影響が大きく、大幅な経費削減には至りませんでした。

また、スキー場は前年に比べ積雪量が少なく、平均営業日数61日（前年度比77%）となり、「スキーリフト券利用者割引」の利用者も5,303名（前年比60%）と前年より減少しました。定番の「JAFカード会員割引」7,689名、「あいカード会員割引」4,794名は継続し、新規協定として8月から「神鍋高原キャンプ場利用者割引」3,449名、11月から「フェアフィールド・バイ・マリオット・兵庫神鍋高原利用者割引」586名など、提携した割引サービスには一定の効果がありました。

定番商品として、今年で3年目を迎えた「入浴料とフェイスタオル、バスタオル」が付いた入浴セットを2,127セット販売し、湯外商品の販売にも注力しました。また、サウナ利用客の要望により、10月からサウナグッズ（サウナ専用ハット・マット・タオル）の販売も開始しました。

新たな取り組みとして、9月から利用者が少ない月曜日と木曜日の13時から15時の時間帯に入浴料半額タイムサービスを実施し、3,347名の利用がありました。ただし、飲料や食品等の入浴料以外の商品を購入いただき、結果的に客単価を落とすことなく、新規顧客や常連客への還元にも繋げることができました。

2 事業実績

売上高の推移

単位：千円

区 分	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期
売店部門	116,322	107,315	113,343	107,367	117,447
飲食部門	36,015	32,510	17,835	21,622	24,576
温泉部門	38,382	37,654	33,477	39,483	37,343
市受託料	4,006	3,954	3,969	4,024	4,227
合 計	194,725	181,433	168,624	172,496	183,593

営業成績、財産状況の推移

単位：千円

区 分	第 25 期	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期
経常利益	4,109	△3,195	3,592	2,302	△2,266
当期純利益	3,898	△2,600	3,304	1,572	△2,476
総資産	37,761	34,296	70,317	72,338	70,580
純資産	25,196	22,597	25,901	27,472	24,996

3 会社の概要

(1) 資本金

資本金	36,000,000 円
-----	--------------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	720 株
うち豊岡市保有分	400 株

(3) 役員の状況

役職名	役員名
代表取締役	岡 森 且 哉
専務取締役	久 田 喜三郎
取 締 役	小 谷 士 郎
取 締 役	細 谷 文 夫
取 締 役	村 上 勝 幸
取 締 役	岡 藤 泰 明
監 査 役	坂 本 成 彦
監 査 役	玉 置 孝 至

(4) 従業員の状況

区 分	人 数
正 社 員	5 人
パート社員等	15 人
合 計	20 人

決 算 報 告 書

第 29 期

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

株式会社 日高振興公社

兵庫県豊岡市日高町栗栖野59-13

貸借対照表

(単位：円)

株式会社 日高振興公社

令和 5年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 67,119,140】	【流動負債】	【 15,584,404】
現金及び預金	62,123,791	買掛金	1,605,445
売掛金	3,282,475	受託未払金	3,456,071
商 品	549,782	未 払 金	8,383,483
原 材 料	480,348	預 り 金	132,505
貯 蔵 品	355,032	預 り 敷 金	100,000
未 収 入 金	84,312	法人税等充当金	90,500
仮 払 金	243,400	未 払 消 費 税	1,816,400
【固定資産】	【 3,461,251】	【固 定 負 債】	【 30,000,000】
(有形固定資産)	(3,275,717)	長期借入金	30,000,000
建 物	2,513,226	負債の部計	45,584,404
建物付属設備	2	純資産の部	
車両運搬具	2	【株主資本】	【 24,995,987】
工具器具備品	762,487	[資 本 金]	[36,000,000]
(無形固定資産)	(185,534)	[利益剰余金]	[Δ11,004,013]
ソフトウェア	185,534	利益準備金	9,000,000
		(その他利益剰余金)	(Δ20,004,013)
		繰越利益剰余金	Δ20,004,013
		(うち当期純利益)	(Δ2,476,222)
		純資産の部計	24,995,987
資産の部計	70,580,391	負債・純資産の部計	70,580,391

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 4年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 5年 3月31日

科 目	金 額	金 額
【売 上 高】		
売 店 売 上	117,447,278	
市事業委託料等	4,227,152	
レストラン売上	24,576,148	
温 泉 売 上	37,342,883	183,593,461
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	934,841	
仕 入 高	83,033,578	
材 料 費	9,939,216	
合 計	93,907,635	
期 末 棚 卸 高	1,030,130	92,877,505
売 上 総 利 益		90,715,956
【販売費及び一般管理費】		95,729,593
営 業 利 益		Δ5,013,637
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	649	
雑 収 入	2,746,662	2,747,311
【営 業 外 費 用】		
固 定 資 産 除 却 損	2	2
経 常 利 益		Δ2,266,328
税引前当期純利益		Δ2,266,328
法人税等充当額		209,894
当 期 純 利 益		Δ2,476,222

販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 4年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 5年 3月31日

科 目	金 額
役 員 報 酬	4,313,800
給 料 手 当	30,686,551
福 利 厚 生 費	5,495,012
雑 給	6,965,596
シルバー委託費	2,066,455
広 告 宣 伝 費	1,798,418
運 賃	101,940
燃 料 費	8,684,675
衛 生 費	5,057,459
水 道 光 熱 費	15,681,227
会 議 費	38,522
事 務 費	1,354,786
消 耗 品 費	3,204,081
地 代 家 賃	38,100
支 払 保 険 料	599,170
修 繕 費	1,180,028
租 税 公 課	4,260,600
減 価 償 却 費	873,551
接 待 交 際 費	177,473
旅 費 交 通 費	56,214
通 信 費	241,419
支 払 手 数 料	2,094,409
賃 借 料	299,542
諸 会 費	397,215
購 読 費	40,800
雑 費	22,550
合 計	95,729,593

株主資本等変動計算書

株式会社 日高振興公社

(単位：円)

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

	株 主 資 本						株 主 資 本 計	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金	自 己 株 式				
当期首残高	36,000,000			9,000,000	△17,527,791		27,472,209			27,472,209
当期変動額										
当期純利益					△2,476,222		△2,476,222			△2,476,222
当期変動額合計					△2,476,222		△2,476,222			△2,476,222
当期末残高	36,000,000			9,000,000	△20,004,013		24,995,987			24,995,987

	利 益 剰 余 金 の 内 訳		
	利 益 準 備 金	繰 越 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計
当期首残高	9,000,000	△17,527,791	△8,527,791
当期変動額			
当期純利益		△2,476,222	△2,476,222
当期変動額合計		△2,476,222	△2,476,222
当期末残高	9,000,000	△20,004,013	△11,004,013

個 別 注 記 表

自 令和 4年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 5年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品・貯蔵品……最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後に

取得した建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産……定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理……税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額……37,341,312円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数……720株

当事業年度末日における自己株式の数……0株

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額……34,716円64銭

1株当たりの当期純利益……△3,439円19銭

監 査 報 告

私監査役は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの第29期事業年度における貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注表、事業報告および附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和 5年 5月22日

監 査 役 坂 本 成 彦

監 査 役 玉 置 孝 至

報 告 書

上記のとおりご報告申し上げます。

令和 5年 6月 6日

株式会社 日高振興公社

代表取締役社長 岡 森 且 哉

専務取締役 久 田 喜三郎

取 締 役 小 谷 士 郎

取 締 役 細 谷 文 夫

取 締 役 村 上 勝 幸

取 締 役 岡 藤 泰 明

株式会社 日高振興公社 第30期（次期）事業計画及び予定損益計画

事業計画

国内では、5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行し、「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」に転換しつつあります。先行きを展望すると、活動自粛ムードから解放され、旅行や外食などのサービス消費がコロナ前に戻り、景気も緩やかに回復していくとみられます。

こうした中、企業は海外の経済・物価動向や今後のウクライナ情勢により、金融・為替市場や国内の経済・物価への影響を十分に注視する必要があります。雇用面では、経済活動の改善を背景に増加し、賃金上昇率も高まることから、雇用者所得は増加を続けると予想されます。

これらを踏まえ、当社では、①価格高騰によるサービスや商品の適正な価格転嫁を行います。②「アフターコロナ」に向け、集客に繋がるエンターテイメント的なイベントの開催や販売促進に繋がる出店販売などのPR活動を行います。③インボイス制度や電子帳簿保存法など法律の改正に合わせた事務処理への移行を実施します。今後も様々な要因を柔軟に対応できる会社経営を目指し、日々改善しながら仕事に取り組みます。

当社については、今期も但馬地域の企業や団体との連携を図る取組みのほか、引き続き地域資源を活用した6次産業の振興や活性化を図る事業を展開します。

売店部門では、神鍋高原の食材を活用しPB商品の開発に取り組みます。また、山陰海岸ジオパーク内にある多様な商品を取り扱い、相互連携により地域経済の活性化を図ります。

飲食部門は、環境に配慮した神鍋産コウノトリ育むお米など神鍋高原ならではのオリジナルメニューを提供します。また、余った食材を弁当や惣菜として販売し、食品ロスの軽減を図ります。

温泉部門は、熱源の中心であるガス使用量を削減し、環境に優しい木質ペレットを使用し経費削減に努めます。また、平日の特定曜日の入浴半額タイムサービスを実施し、地域住民向けのサービス向上を図ります。さらに、湯外商品の販売なども強化します。

また、「神鍋ほっこり通信」を毎月発行するとともに、フェイスブックやテレビ放映など多様なチャンネルによる情報発信を行います。さらに、季節の野菜等の販売やイベント開催の告知をする幟旗を新調し、神鍋高原の魅力を分かりやすく施設に設置し発信します。

神鍋高原において、但馬ドームが今年の4月にリニューアルオープンし、6月には日本女子ソフトボールリーグ、9月にはアウトドアイベントが開催されます。また、その他の取組みとして、5月から全但バスのたじまわる号の周遊、7月には兵庫DC

キャンペーン、10月には神鍋パノラマフェスなどのイベントが開催され、道の駅にも少しずつ賑わいが戻り、新たな客層にも期待が持てます。

今後は、新たな宣伝方法や販売形態を検討し、但馬はもとより市内からの利用者を増やすための仕組みをつくり、多様なニーズに合ったサービスを提供します。

当社においても、今期も「地域と共に創る個性のある道の駅」を目指し、常に話題性に富んだ事業展開を図り、地域の賑わいを創り出すための取組みを展開します。

予定損益計画

予定損益計算書

自 令和5年4月1日

株式会社 日高振興公社

至 令和6年3月31日

科 目	金	額
(営業損益の部)		円
【売上高】		
売 上	213,997,000	
受 託 料 等	4,403,000	
		218,400,000
【売上原価】		
期 首 棚 卸 高	1,030,130	
仕 入 高	99,713,000	
材 料 費	11,078,870	
合 計	111,822,000	
期 末 棚 卸 高	1,000,000	112,822,000
売 上 総 利 益		105,578,000
【販売及び一般管理費】		103,090,000
営 業 利 益		2,488,000
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受 取 利 息		
雑 収 入	1,000,000	1,000,000
【営業外費用】		
支 払 利 息 等		
雑 損 失		
経 常 利 益		3,488,000

予定販売費及び一般管理費内訳書

自 令和5年4月1日

株式会社 日高振興公社

至 令和6年3月31日

科 目	金 額	円
役 員 報 酬	5,400,000	
給 料 手 当	34,000,000	
退職給与引当金戻入	0	
福 利 厚 生 費	6,300,000	
雑 給	6,500,000	
シ ル バ`- 委 託 費	2,200,000	
広 告 宣 伝 費	2,100,000	
運 賃	110,000	
燃 料 費	8,000,000	
衛 生 費	6,000,000	
水 道 光 熱 費	13,800,000	
一 括 資 産 償 却 費	300,000	
会 議 費	80,000	
事 務 費	1,300,000	
消 耗 品 費	2,800,000	
地 代 家 賃	40,000	
支 払 保 険 料	600,000	
修 繕 費	2,500,000	
租 税 公 課	4,700,000	
減 価 償 却 費	800,000	
接 待 交 際 費	200,000	
旅 費 交 通 費	80,000	
通 信 費	400,000	
支 払 手 数 料	3,500,000	
貸 借 料	800,000	
諸 会 費	400,000	
購 読 費	60,000	
雑 費	120,000	
合 計		103,090,000

報告第9号

株式会社シルク温泉やまびこ第19期の決算及び第20期の事業計画に
関する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和5年6月15日提出

豊岡市長 関貫久仁郎

決算等の状況の報告

株式会社 シルク温泉やまびこ

第 19 期事業報告及び決算報告

1 事業の経過及び成果

全国旅行支援の延長による効果で総売上は、当期予算、前期実績ともに上回ることができました。宿泊では、宿泊予約サイトの口コミ満足度、年度当初 4.3 でしたが、年度末には 4.6 まで高めることができました。売店では、重点販売商品をストーリー付ポップで演出し、前期実績を上回ることができました。温泉では、季節にあわせ子供入浴企画等を実施しました。自然の郷、アウトドアも順調に伸ばすことができました。管理では、水道光熱費の使用量の削減に取り組みましたが、水道光熱費、燃料費の高騰が利益を圧迫しました。

結果

総売上	385,159 千円	予算比	106.6%	前期比	129.6%
営業利益	△6,087 千円	予算比	96.8%	前期比	441.9%
純利益	3,618 千円	予算比	581.7%	となりました。	

各部門別売上高は、宿泊 242,540 千円 前期比 139.4%、売店 43,308 千円 前期比 118.0%、温泉 66,162 千円 前期比 112.2%、自然の郷 10,010 千円 前期比 102.0%、アウトドア 12,921 千円 前期比 146.9%となりました。

次に各部門別の利用者数は、宿泊 12,424 人、休憩 2,567 人、温泉 108,205 人、自然の郷 1,886 人、合計 125,082 人となりました。

販売管理費におきましては、水道光熱費 28,913 千円 前期比 136.0%、燃料費 16,004 千円 前期比 107.9%、衛生費 12,276 千円 前期比 106.4%、特に水道光熱費の電気料金高騰により 7,000 千円経費が増嵩しました。

また、お客様により喜んでいただけるように、和室の畳張替え、クローゼットのリニューアルを行いました。

2 事業実績

売上高の推移

(単位：千円)

区 分	第 17 期	第 18 期	第 19 期
宿泊部門	161,196	173,993	242,540
売店部門	37,012	36,712	43,308
温泉部門	52,095	58,953	66,162
自然の郷部門	8,044	9,811	10,010
アウトドア部門	5,080	8,795	12,921
業務委託部門	6,240	6,255	6,921
自販機売上	2,243	2,608	3,297
合 計	271,910	297,127	385,159

営業成績、財産状況の推移

(単位：千円)

区 分	第 17 期	第 18 期	第 19 期
営 業 利 益	△34,357	△26,896	△6,087
当 期 純 利 益	△7,080	9,707	3,618
総 資 産	116,523	133,258	141,212
純 資 産	80,446	90,153	93,772

3 会社の概要

(1) 資本金

資本金	50,000,000 円
-----	--------------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,000 株
うち豊岡市保有分	510 株

(3) 役員の状況

役 職 名	役 員 名
代表取締役	岸 本 直 幸
取 締 役	大 井 靖 夫
取 締 役	大 岸 和 義
取 締 役	持 田 淳
監 査 役	坂 本 成 彦
監 査 役	守 本 徹 宏

(4) 社員（従業員）の状況

区 分	人 数	構 成
社 員	16	男性 9 人、女性 7 人
パート・契約	14	男性 4 人、女性 10 人
計	30	男性 13 人、女性 17 人

決 算 報 告 書

第 19 期

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

株式会社 シルク温泉やまびこ

兵庫県豊岡市但東町正法寺165

貸借対照表

(単位：円)

株式会社 シルク温泉やまびこ

令和 5年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 126,806,318】	【流動負債】	【 25,682,696】
現金及び預金	107,186,035	買掛金	11,188,855
売掛金	13,160,196	未払金	8,282,878
商品	1,236,336	預り金	2,164,263
貯蔵品	1,420,025	法人税等充当金	211,500
未収入金	3,740,726	未払消費税	3,835,200
前払費用	63,000	【固定負債】	【 21,758,000】
【固定資産】	【 14,405,900】	長期借入金	21,758,000
(有形固定資産)	(13,011,280)	負債の部計	47,440,696
建物	281,017	純資産の部	
建物付属設備	1,057,981	【株主資本】	【 93,771,522】
構築物	7,644,406	[資本金]	[50,000,000]
車両運搬具	1	[利益剰余金]	[43,771,522]
工具器具備品	2,507,281	利益準備金	12,500,000
一括償却資産	1,520,594	(その他利益剰余金)	(31,271,522)
(無形固定資産)	(734,620)	別途積立金	25,000,000
敷金	126,000	繰越利益剰余金	6,271,522
ソフトウェア	608,620	(うち当期純利益)	(3,618,471)
(投資その他の資産)	(660,000)	純資産の部計	93,771,522
出資金	660,000	負債・純資産の部計	141,212,218
資産の部計	141,212,218		

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 4年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 令和 5年 3月31日

科 目	金	額
【売 上 高】		
宿 泊 売 上 高	242,540,490	
売 店 売 上	43,308,445	
温 泉 売 上	66,161,840	
自 然 の 郷 売 上	10,009,700	
ア ウ ト ド ア 売 上	12,921,020	
業 務 委 託 売 上	6,921,200	
自 販 機 売 上	3,296,519	385,159,214
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	623,305	
仕 入 高	141,902,430	
飲 料 仕 入	6,128,835	
合 計	148,654,570	
期 末 棚 卸 高	1,236,336	147,418,234
売 上 総 利 益		237,740,980
【販売費及び一般管理費】		243,828,116
営 業 利 益		△6,087,136
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	1,628	
雑 収 入	10,087,861	10,089,489
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息 ・ 割 引 料	107,686	107,686
経 常 利 益		3,894,667
【特 別 利 益】		
国 庫 補 助 金 収 入	2,708,888	2,708,888
【特 別 損 失】		
固 定 資 産 売 却 除 却 損	64,543	
固 定 資 産 圧 縮 損	2,708,888	2,773,431
税 引 前 当 期 純 利 益		3,830,124
法 人 税 等 充 当 額		211,653
当 期 純 利 益		3,618,471

販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 4年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 令和 5年 3月31日

科 目	金 額	
役 員 報 酬	5,400,000	
給 料 手 当	75,740,230	
法 定 福 利 費	11,125,340	
福 利 厚 生 費	2,863,793	
雑 給	1,466,842	
シルバー委託費	8,873,037	
広 告 宣 伝 費	2,960,858	
運 賃	74,963	
サ ー ビ ス 費	2,823,435	
燃 料 費	16,003,755	
衛 生 費	12,276,253	
リ ー ス 料	146,300	
外 注 費	18,953,618	
水 道 光 熱 費	28,913,249	
事 務 費	1,833,034	
消 耗 品 費	4,423,327	
地 代 家 賃	756,000	
支 払 保 険 料	628,897	
修 繕 費	12,642,808	
租 税 公 課	10,821,650	
減 価 償 却 費	5,057,860	
接 待 交 際 費	449,548	
旅 費 交 通 費	295,059	
通 信 費	1,039,263	
支 払 手 数 料	13,002,743	
賃 借 料	3,241,024	
諸 会 費	308,575	
購 読 費	103,104	
雑 費	1,603,551	
合 計		243,828,116

株主資本等変動計算書

株式会社 シルク温泉やまびこ

(単位：円)

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

	株 主 資 本							評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
	資 本 金		利 益 剰 余 金		利 益 剰 余 金		株 主 資 本 合 計			
	資 本 金	資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金	自 己 株 式				
当期首残高	50,000,000			12,500,000	27,653,051		90,153,051		90,153,051	
当期変動額										
当期純利益					3,618,471		3,618,471		3,618,471	
当期変動額合計					3,618,471		3,618,471		3,618,471	
当期末残高	50,000,000			12,500,000	31,271,522		93,771,522		93,771,522	

	利 益 剰 余 金 の 内 訳			
	利 益 準 備 金	別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計
当期首残高	12,500,000	17,000,000	10,653,051	40,153,051
当期変動額				
剰余金の内訳科目間の振替		8,000,000	△8,000,000	0
当期純利益			3,618,471	3,618,471
当期変動額合計		8,000,000	△4,381,529	3,618,471
当期末残高	12,500,000	25,000,000	6,271,522	43,771,522

個 別 注 記 表

自 令和 4年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 令和 5年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品……最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産……定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理……税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額……22,488,242円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

①当事業年度末日における発行済株式の数…1,000株

②当事業年度末日における自己株式の数………0株

③当事業年度末日に行う剰余金の処分に関する事項

令和5年6月5日開催予定の定時株主総会において決議を予定している。

退職給付積立金の積立額……1,000,000円

別途積立金の積立額………4,000,000円

次期繰越利益剰余金………1,271,522円

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額………93,771円52銭

1株当たりの当期純利益金……3,618円47銭

監査報告

私監査役は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの第19期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、事業報告及び付属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和5年5月18日

監査役 坂本 成彦

監査役 守本 徹宏

第20期事業計画及び予定損益計画

1 事業計画

経営方針

顧客満足度豊岡一番を目指す

経営戦略

危機管理

計画テーマ達成に向け実行

人材育成

健康管理

予算計画

総売上	390,250千円（前期実績	385,159千円、	5,091千円）
営業利益	△6,240千円（前期実績	△6,087千円、	△153千円）
経常利益	489千円（前期実績	3,618千円、	△3,129千円）

各部門のテーマ

宿泊 女性をターゲットに決めた施策をたて販売します

売店 女性をターゲットに決めSNSで魅力を発信します

温泉 入場制限緩和し集客します

自然の郷 新たな予約サイトと契約し集客します

アウトドア もっとキャンプが好きになる、魅力を発信します

管理 水道光熱費、燃料費等使用量の削減を目指します

国や県の補助金等を積極的に活用し、利用者の満足度を高めてまいります。

経営方針及び経営戦略に沿って各部門のテーマを実行し顧客満足度を高め予算達成できるよう役員、社員一丸となり取り組んでまいります。

株主様をはじめ、皆様方の格別のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2 予定損益計画

予定損益計算書

株式会社 シルク温泉やまびこ

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

科 目		金 額	
【経常利益の部】			千円
(営業損益の部)			
【売上高】			
売上高		390,250	
			390,250
【売上原価】			
期首棚卸高		1,240	
仕入高		141,620	
合計		142,860	
期末棚卸高		1,240	141,620
	売上総利益		248,630
【販売費及び一般管理費】			254,870
	営業利益		△ 6,240
(営業外損益の部)			
【営業外収益】			
受取利息		3	
雑収入		6,726	6,729
	経常利益		489

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

科 目				金 額
				千円
役 員 報 酬				6,400
給 料 手 当				87,761
法 定 福 利 費				14,040
福 利 厚 生 費				2,913
シ ル バ ー 委 託 費				7,804
広 告 宣 伝 費				900
運 賃				120
サ ー ビ ス 費				2,760
燃 料 費				15,829
衛 生 費				12,878
リ ー ス 料				120
外 注 費				19,603
水 道 光 熱 費				30,731
事 務 費				1,649
消 耗 品 費				3,065
支 払 保 険 料				692
修 繕 費				11,062
租 税 公 課				12,064
減 価 償 却 費				1,481
接 待 交 際 費				480
旅 費 交 通 費				116
通 信 費				997
支 払 手 数 料				15,611
賃 借 料				3,314
諸 会 費				423
購 読 費				58
地 代 家 賃				756
雑 費				1,243
合 計				254,870